

局別審査

審査の詳細は各区の議員へお問い合わせください。

企画調整局 / つじやすひろ 東灘区

つじ議員 神戸市は、自然と都会が共存したクリエイティブな環境を掲げる六甲山スマートシティ構想や、映画等の撮影支援を行うフィルムオフィス等、創造性ある取組や文化に強みがあるが、それらと相関性のあるアニメーション制作を始めとした日本の誇るITコンテンツ産業誘致等を思い切って強化すべきと考えるがどうか。



垣内 企画調整局新産業部長 本市では、若い世代が魅力を感じイノベティブに働ける場の創出を目指して関連産業の集積に取組んでおり、企業側からも、神戸の大学や専門学校の学生を採用する面でも非常に高い評価を得ている。賃料補助制度等のサポートと共に、魅力を積極的に発信していきたい。

環境局 / 黒田武志 西区

黒田議員 行政が作成するホームページについて、市民目線・ユーザー目線に立った改善が早急に必要であると考えている見解を伺う。また、受付センターに直接電話発信できるタップコールにも対応していただきたい。



浜本 環境局副局長 ホームページについては、市民が情報を入手しやすい、あるいは申込みしやすいということ、市民が利用しやすいということが重要と考えており、そういう観点からの作成を心がけ、改善していきたいと思っている。ホームページはパソコンからスマホの利用に変わってきており、タップコールも時代の変化に応じた変更を今後検討したい。

建築住宅局 / 山本のりかず 北区

山本議員 兵庫県と神戸市は様々な連携を実施し二重行政の解消に努めていると承知している。隣接している県営住宅と市営住宅については、県・市が互いに同じ方向を向いて再編していくべきだと考える見解を伺う。



前田 建築住宅局副局長 連携については、県市公営住宅連絡調整会議という会議を設置し、近接する県営住宅・市営住宅の一体的なマネジメント等について継続的に検討している。ご指摘の通り、隣接した公営住宅の再編を同時期に進めることができれば、余剰地の活用など選択肢が広がり、メリットは大きいと考える。どのような連携ができるのか兵庫県と議論を始めているが、継続し、連携の可能性を深めたい。

行財政局 / 川口まさる 灘区

川口議員 労務職の採用について、幅広い層から優秀な人材を確保するという考え方は理解するが、学歴要件によって大学卒業者を排除するような方法は好ましくない。中学校や高等学校卒業者にも幅広く採用の機会を設けるということであれば、学歴要件を撤廃して、筆記試験は標準的な職務遂行能力を確認するとともに、面接試験や技術試験の実施により、労務職として真に活躍が見込まれる人材を確保するという考え方もあるがどうか。



久安 行財政局副局長 多様な人材の確保を主眼とし、他都市の採用選考の学歴要件の実施状況などを踏まえて、見直しを検討したい。

経済観光局 / 外海開三 東灘区

外海議員 コロナ禍で甚大な影響を受けている神戸経済の回復は喫緊の課題だが、2025年大阪・関西万博の開催に向け、今後の具体的な観光戦略や目標などをどのように考えるのか。



安岡 経済観光局観光MICE担当部長 世界各地から約2,800万人の来場が見込まれるこの万博を最大限活用し、関西を訪れる方々が本市にも足を延ばすよう、戦略的に観光施策を展開していく必要がある。プラスワントリップの考え方を基本とし、プロモーション強化や体験型コンテンツを充実して受入れ環境整備を進める。神戸市と神戸観光局が一体となり、2025年大阪・関西万博に向けた戦略の具体化や目標策定を行い、インバウンド誘客の取組を加速させたい。

消防局 / 高橋としえ 西区

高橋議員 救急隊への、新型コロナウイルスの感染予防徹底のため、各区の救急車に陰圧式患者搬送用器具「アイソレーター」を導入、配備すべきと考えるがどうか。



塩谷 消防局救急担当部長 救急隊の感染予防策については、消防庁通知等に基づき適切に対応しており、現在のところ救急搬送に伴う隊員への感染や、救急搬送を介した市民への感染は発生していない。アイソレーターは感染者と救急隊員を完全に隔離して搬送する機器であり、他の消防本部において導入実績がある。神戸市においても、国や研究機関等における最新の知見や他都市の状況などから十分に情報収集を行い、アイソレーター機器の導入も検討したい。

こども家庭局 / 三木しんじろう 中央区

三木議員 こども家庭センターでは、児童虐待対策担当課長とし現職の警察官を配置することになった。今後、どのような課題に取り組んでいくのか。



山村 こども家庭局長 迅速な対応における情報共有・介入の際に困難な事案における職員や児童の安全の問題・事件や逮捕になった場合の広報へのプライバシー保護について取り組む。また警察協力の下で立入調査、臨検、捜索といったことも行っていく。

三木議員 警察との情報共有を迅速かつスムーズに行い、警察官独自の経験やノウハウなどのスキルを活用し初動対応にも役立つ必要がある。今後は合同研修といった情報交換も行っていただきたい。

建設局 / 住本かずのり 須磨区

住本議員 下水道事業において、下水に多量に含まれるリンの活用を研究してきたと聞く。リンを取り出し、農産物の肥料として「こうべ再生リン」の名称で販売しているとのことだが、持続可能な社会の実現に向け、積極的にこのプロジェクトに取り組むべきと考えるがどうか。



石原 建設局下水道部長 下水からリンを効率的に除去して、処理場の維持管理の負担・軽減を図ると共に、回収したリンを神戸ブランドの地産地消型リン肥料として供給することで、都市と農村をつなぐ地産地消への貢献を目指す取組として「KOBEハーベストプロジェクト」を実施している。今年9月には国土交通大臣賞を受賞した。今後も他都市との連携して、利用拡大、資源の地域循環に取り組んでいきたい。

水道局 / ながさわ淳一 長田区

ながさわ議員 上水道スマートメーターの検針の自動化、通信によるデータ集約による業務の効率化だけでなく、アプリなどを活用してインターネット上で利用状況の確認と決済まで完了できるようにするなど、利用者のサービス向上もあわせて検討すべきと考えるがどうか。



田中 水道局副局長 上水道へのスマートメーターの導入は、本格的な実用化に向けて、全国的な仕様の統一や大量導入によるメーター価格の低減、また電力・ガス事業者との共同検針の実現など、様々なコスト低減が求められている。

ながさわ議員 コスト面で課題があったと思うが、他都市でも実証実験を行なっている。全国の自治体が導入し標準化できれば、前向きに進むと考える。

教育委員会 / さとうまちこ 垂水区

さとう議員 教員が自分の自己肯定感を大切に指導するクラスでは子どもたちが明るく健全に育ち、校長が教員の自己肯定感を大切にしている学校では明るく前向きな職場となり、ひいては子どもたちにも良い影響がある。須磨や垂水の事案を踏まえて、現在の研修が効果的だったのか見解を伺う。



山下 教育委員会事務局総合教育センター所長 教員が子どもの自己肯定感を支えるような視点で子どもに寄り添うということが非常に大事になっている。ご指摘の通り、教員も含めて温かい人間関係の中で、互いが尊重し合い自己肯定感を高め合いながら暮らしていくということが大事なので、そういった視点をこれからの研修に取り入れ、互いの自己肯定感が高まるような取組を検討したい。

議員提出第10号議案 「議員報酬2割削減案」は否決されました



議員提出第10号議案は、市会議員の議員報酬を減額する案で、日本維新の会と他会派4名の合計14名で共同提出したものです。9月18日の本会議において「議員報酬の削減によって財源を確保し、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞や、市民生活の不安を、払拭するための支援策に充てていただきたい」と維新の会から改めて説明し、賛同を求めました。

表決において、議員報酬削減に賛成の立場を示した会派は「日本維新の会」「日本共産党」「つなぐ」「共創・国民民主」でした。「自由民主党」「公明党」「立憲民主党」は反対し、賛成少数のため本議案は否決となりました。

議案否決について →



インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 神戸市では、体制を整備しています

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、症状が似ていることから、これらを見分けることは困難と考えられています。神戸市では、発熱やせき等の診療を行う医療機関を、現時点で208箇所確保し、適切な相談・診療を受けていただけるよう体制を整備しています。発熱・せき等の症状が生じた場合には、まずはかかりつけ医等へ電話で相談してください。どこに相談すれば良いかわからない場合は、新型コロナウイルス専用健康相談窓口を利用してください。

【発熱・せき等】の症状が生じた場合は

かかりつけ医にまずは、電話を

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

TEL. 078-322-6250 24時間土日祝含む



※相談先のかかりつけ医等より、適切な医療機関をご紹介します場合があります

どこに相談すればよいか分からない場合は、新型コロナウイルス専用健康相談窓口へご相談ください。神戸市 神戸市医師会